

平成 25 年度 新磯地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	ざる菊花見会 [1]
申請団体	新磯ざる菊愛好会
事業目的等	<p>新磯地区の秋の魅力を高めるため、「ざる菊」による花の名所づくりを推進し、秋の観光名所として市内外からの交流人口の増加を図るとともに、他団体との連携を促進し、新磯地区の地域活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>平成 21 年度から、住民有志によりざる菊の栽培に取り組み、「ざる菊花見会」の開催は今年で 5 回目を迎える。年々来場者が増加しており、昨年は 12,000 人を超えるなど、地域の秋の風物詩として定着し始めていることから、今年は敷地規模を昨年までの約 600 坪から約 750 坪に拡大し、来場者へのおもてなしの向上を図るとともに、市内外への積極的な PR を行うなど、にぎわいを増す新たな魅力づくりを進める。</p> <p>* 勝坂歴史公園南側に位置するところ約 750 坪に、住民有志で紅、白、黄、ピンクなどの約 1,300 株のざる菊を栽培し、10 月下旬から 11 月中旬頃までざる菊花見会を開催</p>
交付決定日	平成 25 年 9 月 6 日
交付決定金額	178,000 円 (全体事業費 357,209 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの制作及び市庁舎・公共施設等への掲示 ・南区合同庁舎、新磯まちづくりセンター、JA 新磯支店等へのざる菊展示による PR ・ざる菊会場準備(看板、幟旗の設置等) ・ざる菊花見会の開催(期間 10 月 27 日～11 月 16 日、来場者数約 12,000 人) ・花見会式典開催(11 月 4 日) <li style="padding-left: 20px;">* 地元産の野菜、卵、焼き芋やざる菊の販売 <li style="padding-left: 20px;">* オカリナ、太鼓、はやし等の演奏 ・「勝坂遺跡縄文まつり」(11 月 3 日)との相互協力 ・新磯観光協会発行の「秋の新磯散策マップ」の配布・写真コンテストの PR <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は、敷地規模の拡大や休憩スペースの確保、市内外への積極的な PR など、来場者へのおもてなしの向上を図るとともに、交通指導員の増員や駐車スペースの拡充など更なる安全対策の強化を図った。 ・「勝坂遺跡縄文まつり」や同時期に協力関係のとれる団体との連携強化を図ることにより、一日楽しめる新磯巡りを推進し、地域の観光 PR や賑やかしに貢献している。 ・地域活性化事業交付金の活用等により、「ざる菊」による花の名所づくりを推進し、地域の秋の観光名所として、市内外から多くの方にご来場いただき、その成果も十分に表れている。 ・同会のこれまでの活動が地域における花のまちづくりの普及・定着に寄与していることの評価を受け、今年 10 月に「全国花のまちづくりコンクール」で奨励賞を受賞した。
市 評 価	<p>「ざる菊花見会」の開催が市内外に広く周知され、来場者の増加がより一層見込まれる中、敷地規模の拡大や休憩スペースの確保など、イベントの質やサービスの向上を勘案した事業展開がなされ、安全対策等も図られている。</p> <p>また、「勝坂遺跡縄文まつり」との連携強化や他団体との連携により、地区内の秋のイベントとしての相乗効果をもたらしている。</p> <p>色鮮やかで、日々その色合いを変えるざる菊の魅力により、秋の新磯地区の活性化を達成しているものと評価するとともに、今後の事業展望においても、継続性や発展性が見込まれ、地域の賑わいを増す更なる魅力づくりが期待される。</p>
備 考	

申請事業名	新磯地区観光 PR 事業 [2]
申請団体	新磯観光協会
事業目的等	<p>新磯地区の魅力や魅力を地区内外へ情報発信し、観光情報をわかりやすく提供することにより、観光客の利便性や回遊性の向上を図り、観光客の集客を促進するとともに、新磯地区の良さを再発見する機会として、地区の観光イベントの更なる活性化や魅力づくりの推進に寄与することを目的とする。</p> <p>地区内外への観光PR事業を強化するため、新磯地区の観光資源や文化・観光行事など、関係団体・機関との連携・協力により、見どころ、楽しめるスポットや周遊ルート等を掲載した総合的な観光マップを作成する。</p>
交付決定日	平成26年 1月24日
交付決定金額	400,000 円 (全体事業費 400,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新磯地区における観光情報の収集・整理 ・「新磯観光マップ」の発行(10,000部) <p>(掲載内容:新磯地区の地理的位置、観光名所・施設・イベント、神社・寺・歴史的建造物・郷土資料、公園、自然風景・街歩き・散歩コース、休憩所、商店 ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光マップの地区内配布、公共施設及び関係団体・機関等への配架 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新磯地区の観光資源や文化・観光行事など、関係団体・機関等との連携・協力により、見どころや楽しめるスポット、周遊ルート等を掲載した総合的な観光マップを完成させることができた。 ・今後は、この観光マップを活用して、地区内外への観光PR事業を更に強化してまいりたい。
市 評 価	<p>観光マップの作成を契機に、地域の公共的な活動団体間の連携・協力が図られるなど、地区における観光ネットワークの形成に大きく貢献している。</p> <p>また、地区まちづくりの視点から、豊富な観光資源や歴史・文化を活かした、更なる地域の活性化や魅力づくりにつながる事業として評価している。</p>
備 考	

申請事業名	相模川下磯部地区芝ざくら保全事業 [3]
申請団体	相模川芝ざくら下磯部愛好会
事業目的等	<p>相模川の河川敷はかつて雑草が繁茂し、不法投棄など河川環境が悪化していたことから、相模川の自然と環境を守るため、下磯部地区において、平成16年度から18年度にかけて延長約545メートル、面積約2,325平方メートル区間の堤防敷を整備するとともに、「芝ざくら」を植栽し、その育成と維持管理を今日まで実施している。</p> <p>また、毎年4月には市の地域活性化イベントである「相模川芝ざくらまつり」を開催し、多くの来場客で賑わっている。</p> <p>しかし、芝ざくらは数年経過すると老化し枯れ始めるため、順次新しい苗に更新させていかなければならず、さらに、芝ざくらの維持管理を開始してから約10年が経過し、会員の高齢化が進むなど、年間を通しての除草作業等が大きな負担となっている。</p> <p>こうした現状を踏まえ、今後も相模川の芝ざくらの良好な景観を保持し、相模原市の観光資源の魅力向上に資するため、枯れた場所や植え替え時期が到来した場所等において、適切な苗の植え替えを実施するとともに、雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減を図り、更なる効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を推進する。</p>
交付決定日	平成26年 2月19日
交付決定金額	700,000円 (全体事業費 708,619円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模川法面の補修を施した個所等において、防草シートを敷設(延長約88メートル)するとともに、芝ざくら苗(交付金分3,850株)を購入し、植え付け作業を実施 苗の植え付け後、速やかに散水等適切な植栽管理を実施 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 相模川の芝ざくらの良好な景観を保持することにより、雑草の繁茂や不法投棄など河川環境の悪化を抑制するとともに、市の観光資源としての魅力向上に寄与している。 地域活性化事業交付金を活用し、スギナなど雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減が図られた。 次年度以降も、相模川の自然と環境を守り、芝ざくらの良好な景観を保持していくため、引き続き、維持管理の充実を図ってまいりたい。
市評価	<p>相模川の芝ざくらは、毎年4月の開花時期には、市内外から20万人前後の来場者が訪れ、市の魅力ある観光資源の一翼を担うとともに、新磯地区の地域活性化に寄与している。</p> <p>また、河川敷に芝ざくらを植えることにより、河川環境も大きく改善され、不法投棄の防止をはじめ相模川の自然と環境を守る役割に大きく貢献している。</p>
備考	相模川芝ざくら植栽延長約1.4キロメートルは、「新戸相模川芝ざくら保存会」と「相模川芝ざくら下磯部愛好会」の2団体が区間を分けてそれぞれ維持管理を行っている。

申請事業名	相模川新戸地区芝ざくら保全事業 [4]
申請団体	新戸相模川芝ざくら保存会
事業目的等	<p>相模川新戸地先第1堤防の法面は、高さ2メートルを超える雑草が繁茂し、また不法投棄が絶えないことから、この堤防の法面を綺麗にすれば、不法投棄やごみの投棄はなくなるだろうと考え、「孫への遺産 花の絨毯 芝ざくらまつり」をモットーに、平成14年9月から相模川に芝ざくらの植栽を開始し、現在では延長約1,662メートル、面積約8,603平方メートルの区間において、芝ざくらの育成と維持管理を行っている。</p> <p>また、毎年4月には市の地域活性化イベントである「相模川芝ざくらまつり」を開催し、多くの来場客で賑わっている。</p> <p>しかし、芝ざくらは数年経過すると老化し枯れ始めるため、順次新しい苗に更新させていかなければならず、さらに、芝ざくらの維持管理を開始してから約10年が経過し、会員の高齢化が進むなど、年間を通しての除草作業等が大きな負担となっている。</p> <p>こうした現状を踏まえ、今後も相模川の芝ざくらの良好な景観を保持し、相模原市の観光資源の魅力向上に資するため、枯れた場所や植え替え時期が到来した場所等において、適切な苗の植え替えを実施するとともに、雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減を図り、更なる効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を推進する。</p>
交付決定日	平成26年 2月19日
交付決定金額	700,000円 (全体事業費 700,000円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模川法面の補修を施した個所等において、防草シートを敷設(延長約100メートル)するとともに、芝ざくら苗(交付金分3,580株)を購入し、植え付け作業を実施 ・苗の植え付け後、速やかに散水等適切な植栽管理を実施 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模川の芝ざくらの良好な景観を保持することにより、雑草の繁茂や不法投棄など河川環境の悪化を抑制するとともに、市の観光資源としての魅力向上に寄与している。 ・地域活性化事業交付金を活用し、スギナなど雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減が図られた。 ・次年度以降も、相模川の自然と環境を守り、芝ざくらの良好な景観を保持していくため、引き続き、維持管理の充実を図ってまいりたい。
市評価	<p>相模川の芝ざくらは、毎年4月の開花時期には、市内外から20万人前後の来場者が訪れ、市の魅力ある観光資源の一翼を担うとともに、新磯地区の地域活性化に寄与している。</p> <p>また、河川敷に芝ざくらを植えることにより、河川環境も大きく改善され、不法投棄の防止をはじめ相模川の自然と環境を守る役割に大きく貢献している。</p>
備考	相模川芝ざくら植栽延長約1.4キロメートルは、「新戸相模川芝ざくら保存会」と「相模川芝ざくら下磯部愛好会」の2団体が区間を分けてそれぞれ維持管理を行っている。

申請事業名	共助意識の啓発事業～地域防災力の向上に向けて～ [5]
申請団体	新磯地区自治会連合会
事業目的等	<p>大地震等の災害に備え、地区内における共助意識を醸成し、地域の防災行動力として活動する単位自主防災隊への支援及び地区内の防災組織活動を強化促進するため、地域防災に関する周知・啓発チラシを作成し、地区住民や新磯地区防災連絡協議会の構成団体、公共施設等に広く配布することにより、地域防災力の向上に資する。</p> <p>また、自治会加入促進の取組も併せて展開することにより、お互いに助け合う「共助」の基礎である地域コミュニティの向上を図る。</p>
交付決定日	平成26年 2月 28日
交付決定金額	160,000円 (全体事業費 160,000円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災に関する共助意識の周知・啓発チラシ「新磯防災」の発行(8,000部) (掲載内容:災害時を想定した情報連絡訓練、新磯地区災害時要援護者避難支援事業、地域防災力向上のための講演会、新磯地区避難所・一時避難場所・広域避難場所、自治会加入促進PR記事 ほか) ・地区住民、新磯地区防災連絡協議会の構成団体(39の組織・機関等)及び公共施設等に配布 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着実に地域防災力を向上させていくためには、より多くの地区住民の協力と理解が不可欠であることから、本事業を通して、防災面での共助意識やコミュニティの重要性について、更なる住民理解を深めることができた。 ・次年度以降も引き続き、共助意識の周知・啓発を行うとともに、平時における地域防災活動の更なる充実に向けた支援及び自治会加入促進のPRを図ってまいりたい。
市評価	<p>当事業は、災害時の共助意識の拡大を目指すものであり、地域防災力の向上に資するのみならず、自治会加入促進や地域活動の担い手育成にもつながっている。</p> <p>また、地域の防災行動力となる地区内の関係組織・機関等に対して、積極的な情報提供を行うことで、地域防災のネットワーク化の促進が図られている。</p>
備考	